

PHILIPS

Healthcare



第45回日本重症心身障害学会学術集会 ランチョンセミナー3

日時 2019年9月20日（金）12:10～13:10

会場 第3会場（2階 展示ホール）

経腸栄養のリスクマネジメント ー適正な栄養管理を目指してー

座長 渡部 晋一 先生 倉敷中央病院 総合周産期母子医療センター

演者 田中 芳明 先生 久留米大学医学部 外科学講座 小児外科部門

参加方法：整理券制

配布時間・場所：9月20日（金）8:30～〈2階 総合受付となり〉

共催：第45回日本重症心身障害学会学術集会

株式会社フィリップス・ジャパン／ネスレ日本株式会社

第45回日本重症心身障害学会学術集会 ランチョンセミナー3

2019年9月20日（金）12:10 ～ 13:10 第3会場（2階 展示ホール）

経腸栄養のリスクマネジメント ―適正な栄養管理を目指して―

田中 芳明 先生

久留米大学医学部外科学講座小児外科部門教授
久留米大学病院副院長 医療安全管理部部長

長期入院患者では、年齢を問わず安静に伴い骨格筋が廃用萎縮に陥るなど、栄養学的リスクが存在する。さらに外傷や感染症などの炎症、手術、化学療法などの侵襲が加わると生体内で糖新生が加速し、これに伴い蛋白の異化が亢進して身体機能の低下に伴う転倒や創傷治癒遅延、嚥下機能、免疫能の低下による誤嚥性肺炎などが惹起される。殊に長期の経管栄養管理を要する症例では、栄養剤の組成による生体への影響も考慮する必要がある。従って栄養評価を実施し、それに基づく適正な栄養療法の実践が病態の改善に貢献するだけでなく、種々の合併症のリスクを低減するうえで重要となる。

たんぱく質の投与意義としては、骨格筋量の維持・回復、サルコペニアの予防、創傷治癒の促進、免疫能の維持・強化による感染予防が挙げられる。「日本人の食事摂取基準（2015年版）策定検討会」報告書では、高齢者のたんぱく質の推定平均必要量、推奨量は若年成人との差は認められず、たんぱく質摂取量が減少している高齢者はフレイルティが高度となることが指摘され、たんぱく質の補給量に配慮する必要性が報告されている。長期臥床を余儀なくされる重症心身障害者もPEMやフレイルのリスクは高い。筋肉を構成するたんぱく質のうち約20%がBCAAであり、ことにロイシンは蛋白合成促進・分解抑制に中心的な役割を果たすため、BCAAリッチな栄養剤などが有用と考えられる。

カルニチンはミトコンドリア内における長鎖脂肪酸代謝の必須因子で、ミトコンドリア内で産生される有毒なアシル化合物の細胞外への排出も担う。併用薬剤による影響としては、抗てんかん薬、ピボキシル基を有する抗菌薬、抗腫瘍薬などでカルニチン欠乏症の報告がある。重度心身障害者では長期の経腸栄養や抗痙攣薬、抗菌薬の使用を余儀なくされる場合が少なくなく、欠乏のリスクは大きい。欠乏症では低血糖や痙攣、ミオパチー、肝機能異常、高アンモニア血症などが認められる。カルニチンの他にもセレンやヨウ素の欠乏症、過剰症にも注意が必要で、特に長期の経腸栄養管理や血液透析、慢性炎症下において、これらの欠乏症の報告が散見される。

最後に、腸管免疫能や腸内細菌叢、食物繊維と短鎖脂肪酸の役割について概説する。小腸は栄養素の消化吸収を行うとともに、人体最大の免疫臓器として重要な役割を担う。加齢に伴い腸内細菌叢は変化し、いわゆる善玉菌は減少、悪玉菌が増加する。その結果、慢性炎症や悪性腫瘍、うつ病の発症などとの関連も報告されている。また、生体に影響を与える成分として短鎖脂肪酸の短鎖脂肪酸レセプターを介する生体作用についても言及する。さらに、乳酸菌などによる腸内フローラ改善（整腸）作用は周知の事実であるが、腸内フローラに影響を及ぼさない乳酸菌などの加熱殺菌体による免疫賦活、老化制御など生体調節作用（バイオジェニクス）等も報告されつつあり、一部紹介する。

以上、経腸栄養のリスクマネジメントについて概説する。

略 歴 昭和 57年 久留米大学医学部 外科学第1講座入局
平成 6年 同小児外科 講師
平成 12年 久留米大学病院NST運営委員会代表幹事
平成 19年 同 医学部外科学講座小児外科部門准教授
平成 23年 久留米大学病院 医療安全管理部副部長
平成 24年 同 医療安全管理部部長 小児外科部門教授
平成 28年 同 副院長 栄養治療部部長

資 格 日本外科学会 指導医、専門医
日本小児外科学会 指導医、専門医
日本臨床栄養学会 臨床栄養指導医
国家公務員共済組合連合会「第5回医療安全管理者研修全コース」修了 ほか

所属学会 日本臨床栄養学会 理事、評議員
日本静脈経腸栄養学会 代議員
日本小児外科学会 評議員
日本外科代謝栄養学会 評議員
日本栄養材形状機能研究会 世話人 ほか

